

2024年5月期 通期決算報告

シグマ光機株式会社

2024年 7月 17日 (水)

証券コード： 7713



目次

1. 2024年5月期通期決算概要・2025年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

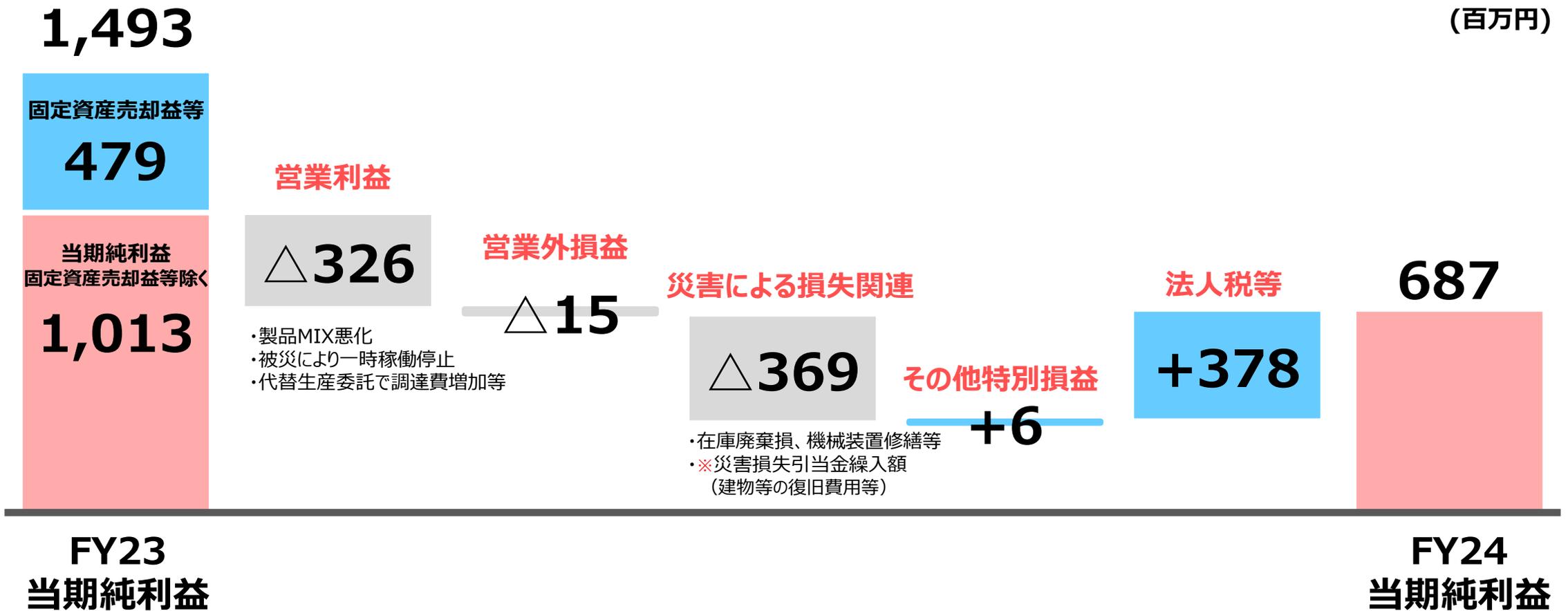
本多 隆

3. 質疑応答

- 一部の海外地域及び半導体向け等の一部需要鈍化の他、被災の影響等により減収減益。
- 災害による損失を計上し、固定資産売却益を計上した対前期比で当期純利益が大幅減少。

【百万円】	FY22		FY23		FY24		FY24期修正予算比	
	実績	YoY	実績	YoY	実績	YoY	増減額	増減率
売上高	10,354	+18.1 %	11,367	+9.8 %	11,213	△1.4 %	△26	△0.2 %
営業利益	1,437	+46.2 %	1,504	+4.6 %	1,178	△21.7 %	+83	+7.6 %
経常利益	1,614	+40.1 %	1,690	+4.7 %	1,349	△20.2 %	+89	+7.1 %
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,170	+42.3 %	1,493	+27.6 %	687	△54.0 %	+72	+11.7 %
1株当たり当期純利益	165円23銭		210円85銭		97円03銭			—
平均為替レート								
1USドル	112.86円		134.95円		144.40円			
11-0	131.01円		141.24円		156.80円			
1人民元	17.59円		19.68円		20.14円			
1SGD	83.71円		98.39円		107.46円			

- 半導体業界等の一部要因による製品MIX悪化及び被災の影響等により営業利益が減少。
- 前期の固定資産売却益の剥落と当期の災害関連の特損等の一時的な要因もあり大幅減少。



※災害損失引当金繰入額は現時点で入手できる合理的な見積りに基づいて算出しております。

被災工場：能登工場（石川県志賀町）

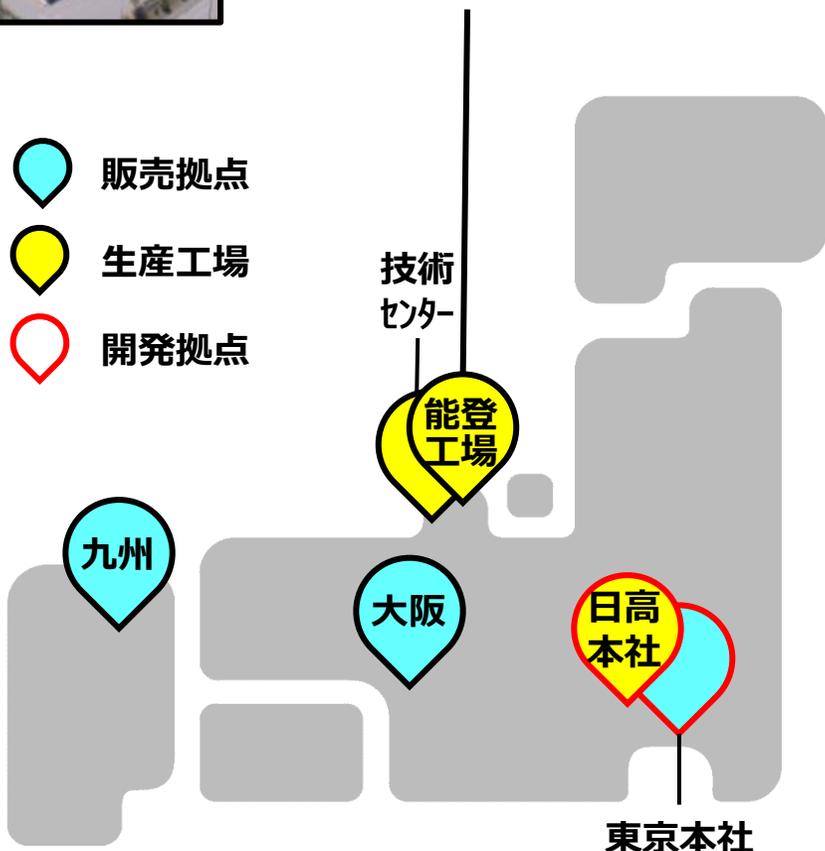
『令和6年能登半島地震による影響に関するお知らせ（第五報）』

(2024年5月23日発表)



主な製造品目：

光学基本機器製品等

※同SG製品は中国グループ会社も生産
(代替生産を実施中)

①生産設備：

⇒1次修繕が完了し、大部分復旧。

一部の生産設備は高精度加工用の2次修繕実施中。

②生産体制：

⇒供給体制は通常稼働と同等水準まで回復。

サプライチェーン連携強化と工場復旧で生産能力増強。
製品の安定供給に努める。

③建物等の設備：

⇒工場稼働に必要な1次修繕完了。

6月より2次修繕を実施中（半年～8か月）

生産体制を中心に、ほぼ復旧完了。
今後、更なるBCPの強化に努めてまいります。

4 セグメント別売上高・営業利益

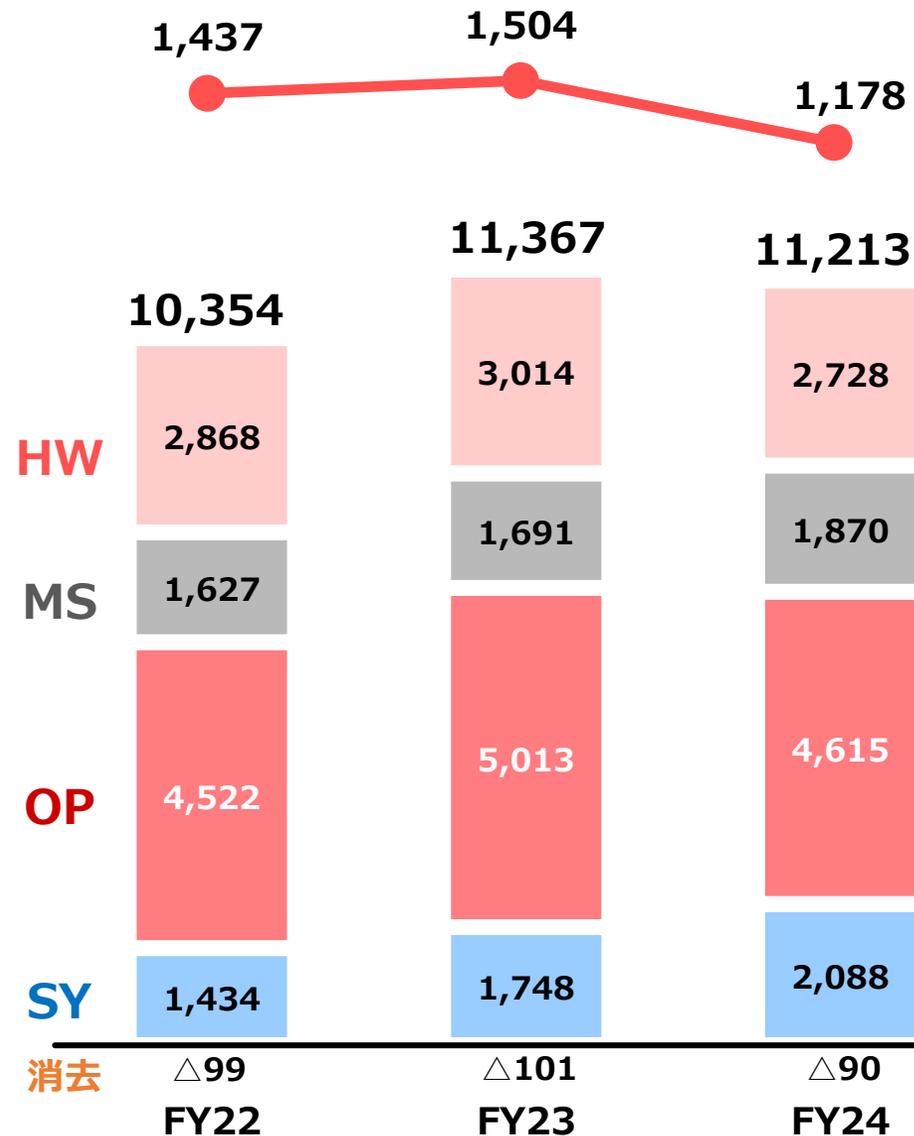
売上高

【百万円】

製品区分	FY22	FY23	FY24		
	実績	実績	実績	構成比	YoY
要素部品事業	9,018	9,720	9,215	82.2 %	△5.2 %
光学基本機器製品(HW)	2,868	3,014	2,728	24.3 %	△9.5 %
自動応用製品(MS)	1,627	1,691	1,870	16.7 %	+10.6 %
光学素子・薄膜製品(OP)	4,522	5,013	4,615	41.2 %	△7.9 %
システム製品事業	1,434	1,748	2,088	18.6 %	+19.4 %
光学システム製品(SY)	1,434	1,748	2,088	18.6 %	+19.4 %
消去	△99	△101	△90	△0.8 %	-
合計	10,354	11,367	11,213	100.0 %	△1.4 %

● 営業利益
■ 売上高

【百万円】



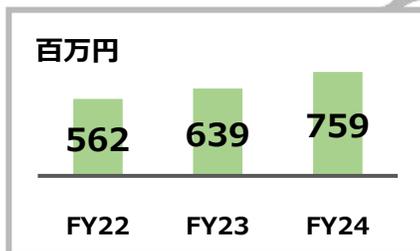
営業利益

【百万円】

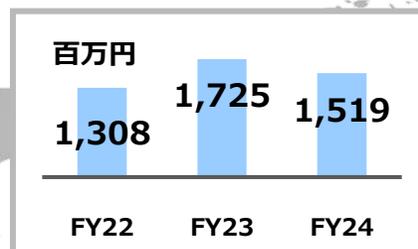
事業区分	FY22	FY23	FY24	
	実績	実績	実績	YoY
要素部品事業	1,941	2,024	1,516	△25.1 %
システム製品事業	70	64	223	+244.0 %
消去	△574	△585	△561	-
合計	1,437	1,504	1,178	△21.7 %

●地政学的リスク高い状況続く。海外売上高減少△2.8%(YoY)

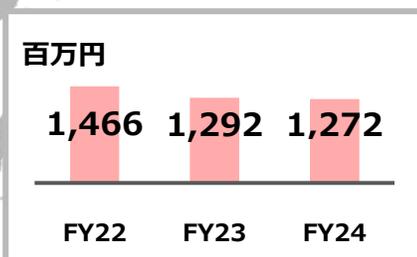
ヨーロッパ +18.7%(YoY)



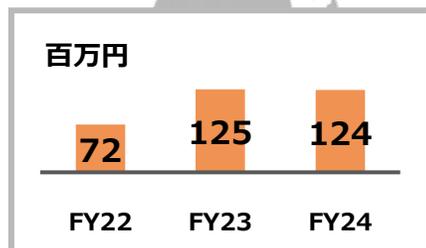
アメリカ △11.9%(YoY)



アジア・オセアニア △1.6%(YoY)



その他 △0.3%(YoY)



平均為替レート

	FY22	FY23	FY24
1USD	112.86円	134.95円	144.40円
1ユーロ	131.01円	141.24円	156.80円
1人民元	17.59円	19.68円	20.14円
1SGD	83.71円	98.39円	107.46円

FY24

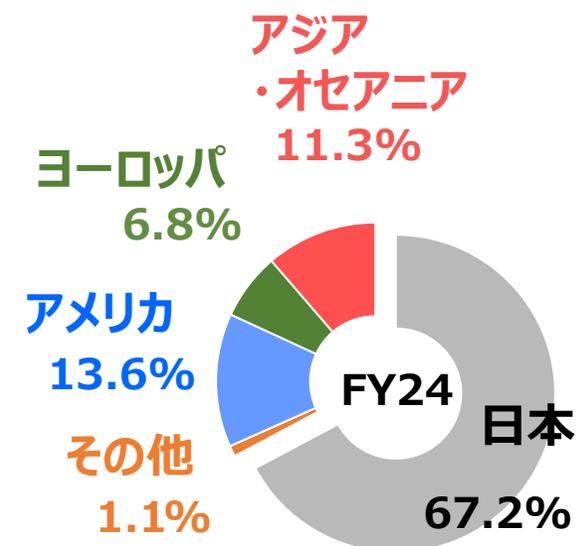
海外売上高

3,676 百万円

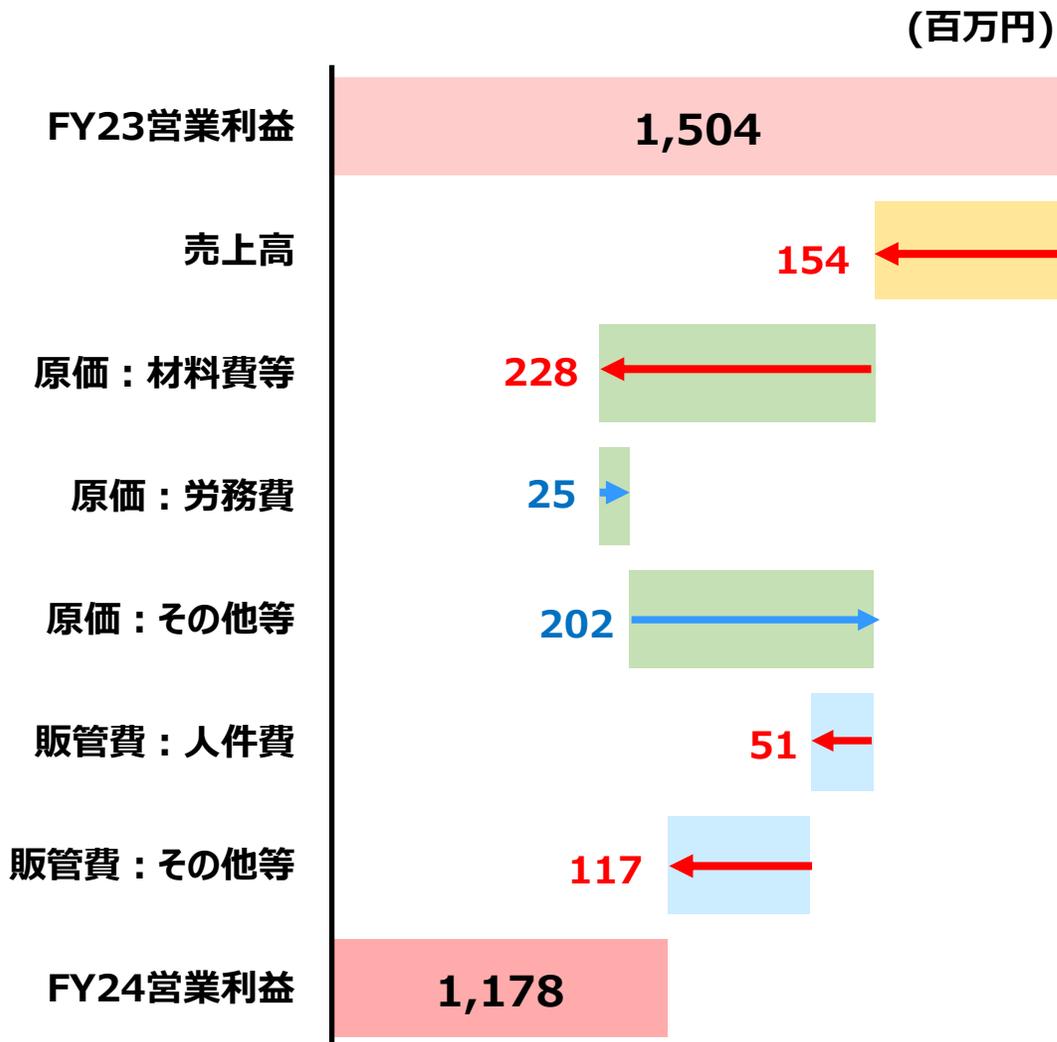
海外売上高構成比率

32.8%

販売先別売上高構成比



● 海外等の一部需要鈍化及び被災による一時的な稼働停止等により325百万円減益



■ 各項目の対前年比

(百万円)

売上高： △154 (利益減少)

・海外等一部需要鈍化、工場被災による一時稼働停止等

売上原価： +1 (利益減少)

・材料費等： +228

製品MIX悪化、外注加工費等の増加等

・労務費： △25

被災による工場の一時稼働停止、賞与の減少等

・その他等： △202

被災による在庫損傷の特損振り替え、子会社の在庫評価損失の減少

販売管理費： +169 (利益減少)

・人件費： +51

海外グループ会社の増員等

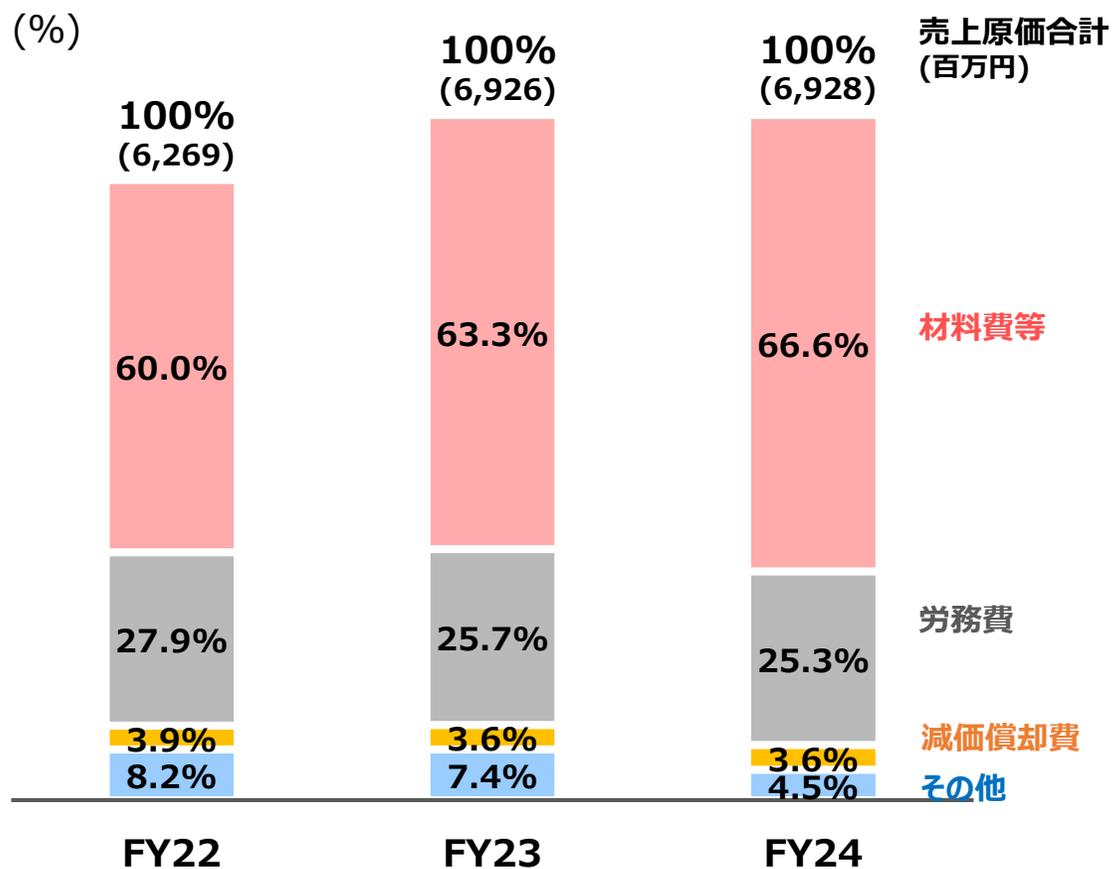
・その他等： +117

子会社新社屋賃料、海外展示会費用、旅費交通費

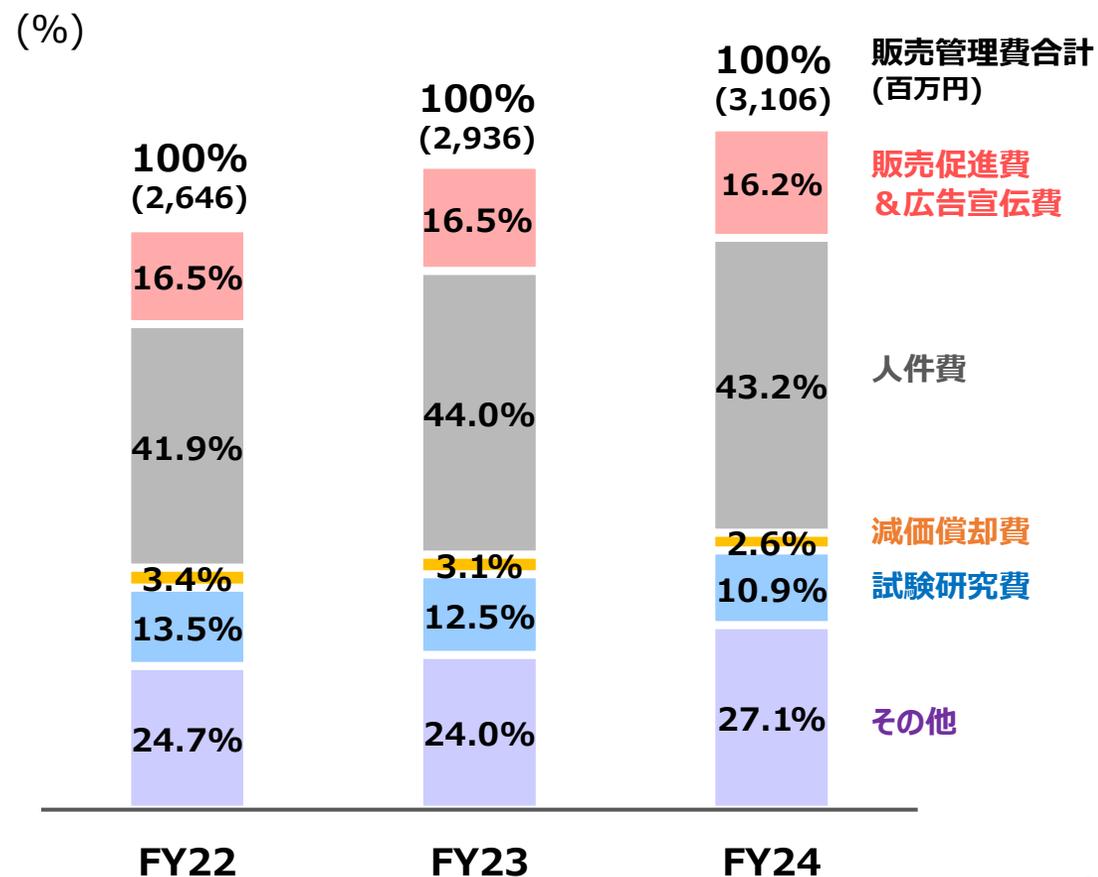
7 売上原価構成比・販売管理費構成比

- 原材料費の高止まり、外部調達費の増加。製品MIXの悪化により原価率が悪化。
- 積極的な販売活動を行い、販売促進費等が増加。

売上原価構成比



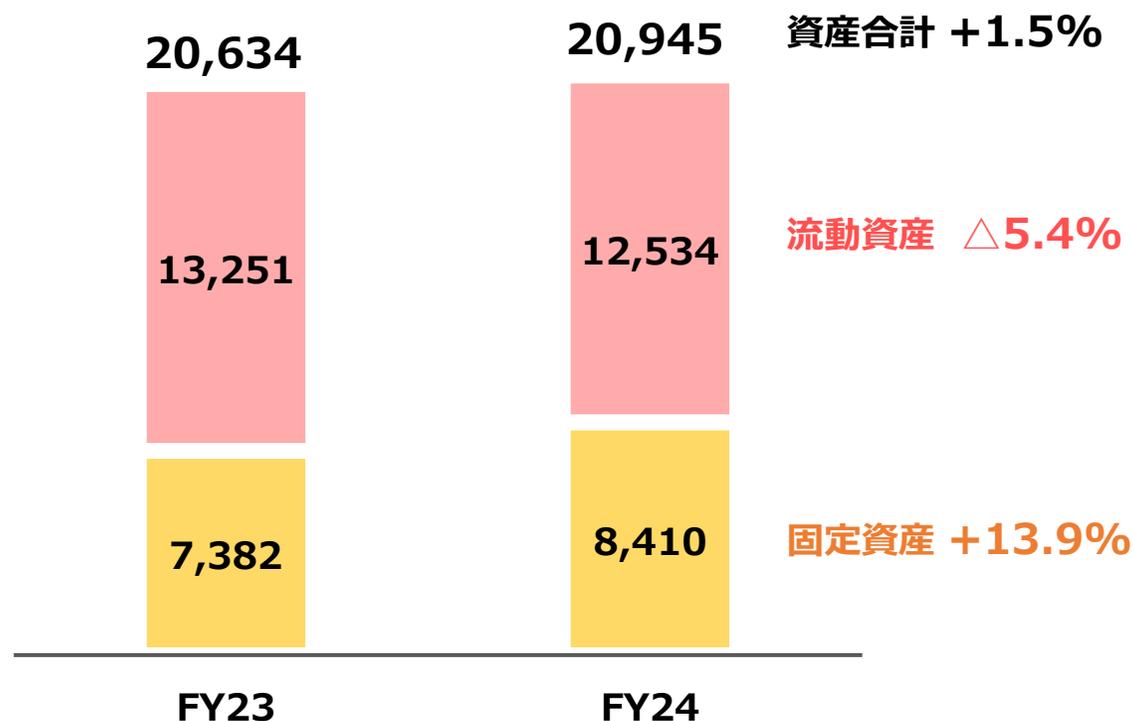
販売管理費構成比



- 当社技術センター新工場棟の完成、投資有価証券の増加等により、固定資産が増加。
- 仕入債務の減少等により負債減少。自己資本比率は81.4%で安定推移。

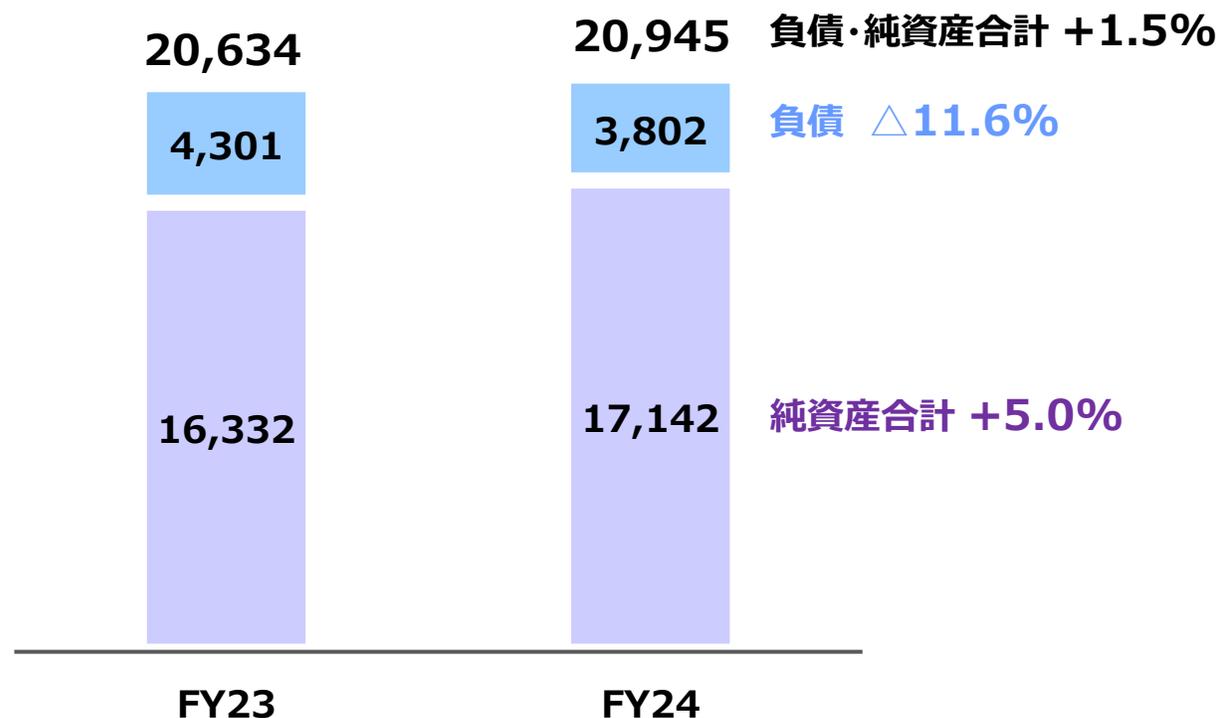
資産の部 / 増減率 (YoY)

(百万円)



負債・純資産の部 / 増減率 (YoY)

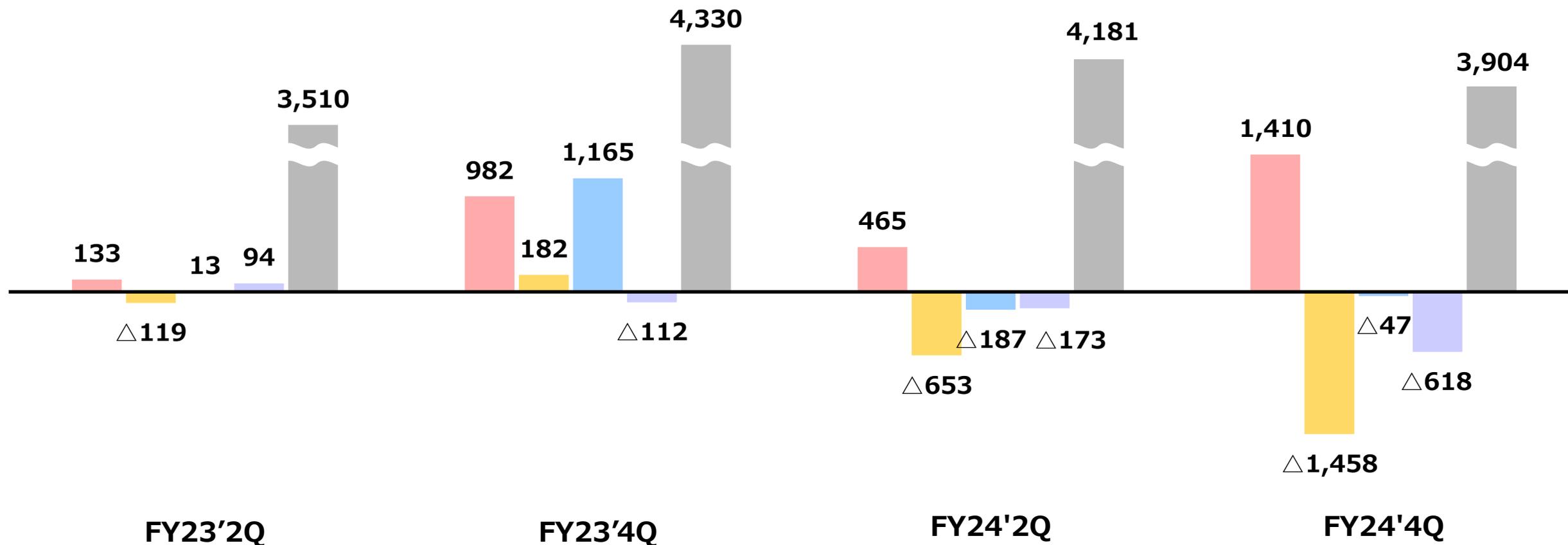
(百万円)



● 設備投資を積極的に行い現金及び現金同等物の期末残高が減少

【百万円】

■ 営業CF ■ 投資CF ■ FCF ■ 財務CF ■ 現金及び現金同等物の期末残高



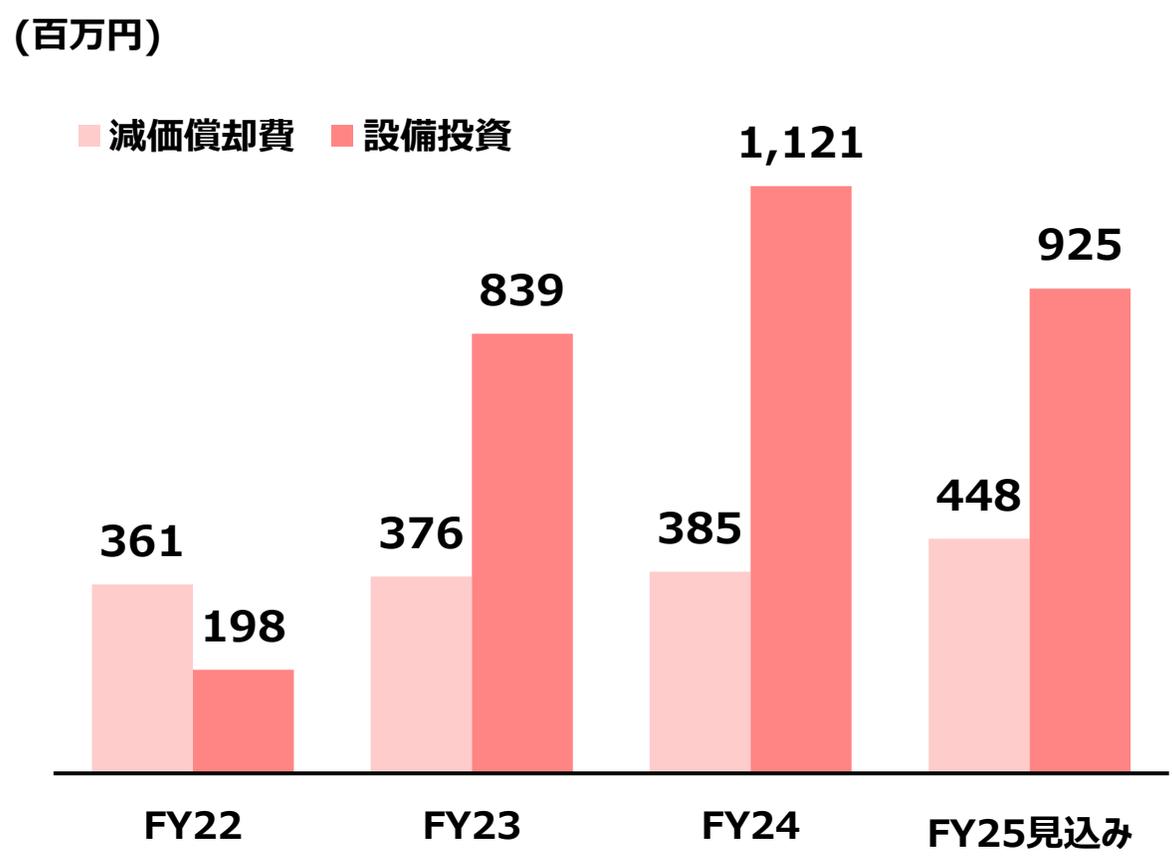
- 高付加価値製品の提案・販売、生産技術向上・生産性向上等により、増収を目指す。
- 持続的な成長に向けた設備投資による償却費増加。材料費高止まり等で営業利益横ばい。

【百万円】	FY23		FY24		FY25					
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	YoY	YoY(%)
売上高	11,367	100.0 %	11,213	100.0 %	5,640	6,180	11,820	100.0 %	+606	+5.4 %
営業利益	1,504	13.2 %	1,178	10.5 %	410	750	1,160	9.8 %	△18	△1.4 %
経常利益	1,690	14.9 %	1,349	12.0 %	455	945	1,400	11.8 %	+50	+4.0 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,493	13.1 %	687	6.1 %	275	625	900	7.6 %	+212	+31.4 %
1株当り 当期純利益	210円85銭	-	97円03銭	-	38円82銭	-	127円07銭	-	-	-

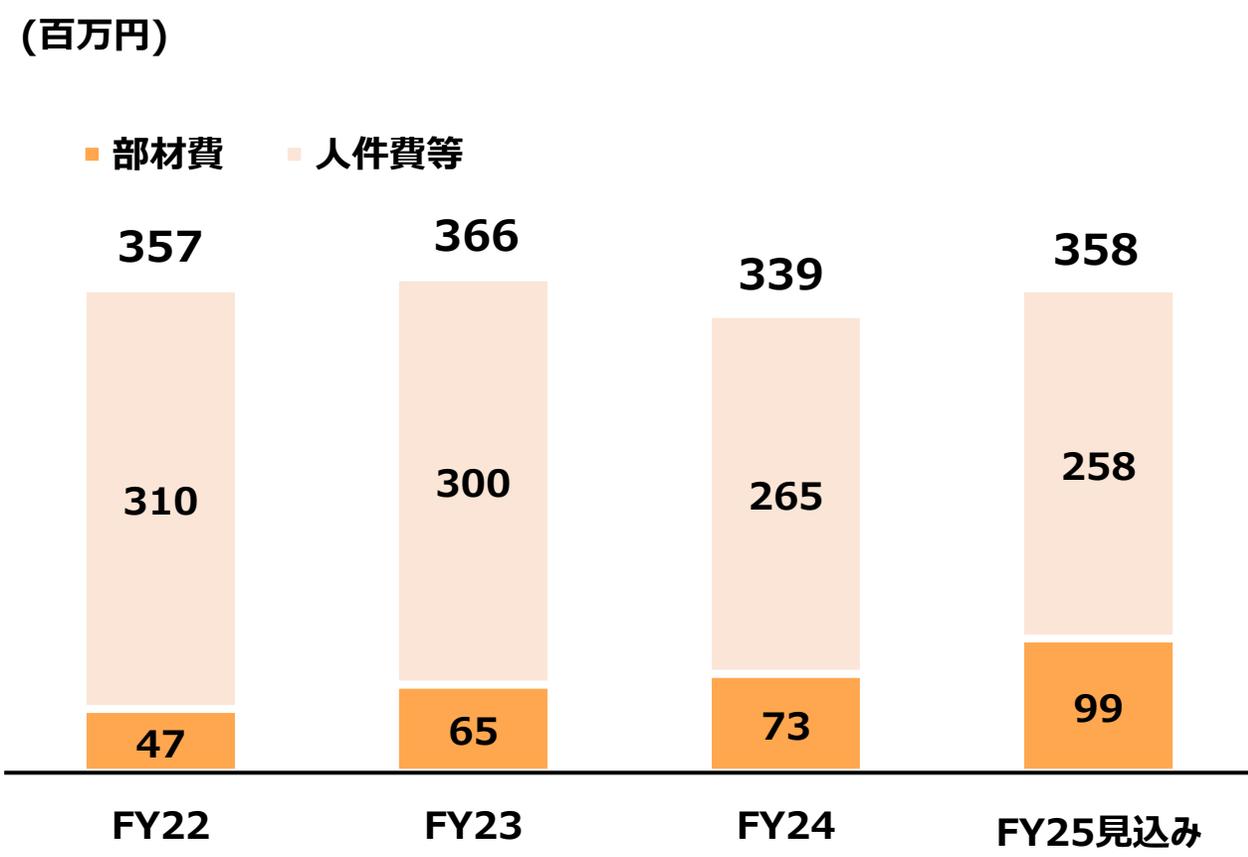
当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=145.00円、1ユーロ=155.00円、1人民元=20.00円、1SGD=110.00円で計算しております。

- 設備投資は石川県能登工場の新規設備導入等より高い水準を継続。
- 将来に向けた研究開発継続。

設備投資・減価償却費



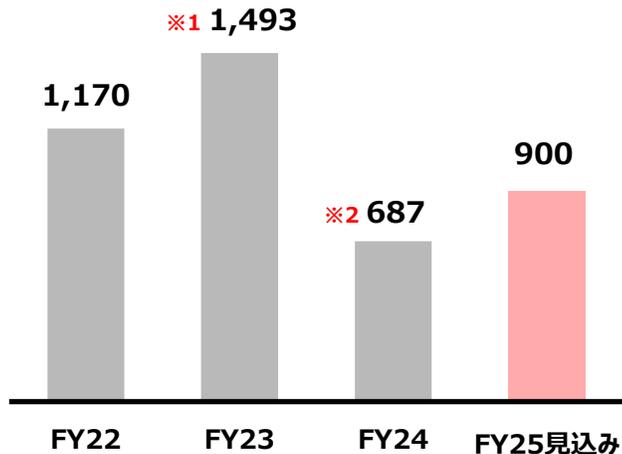
研究開発費



- 2025年5月期後半に向けて市場が回復見込み。
- FY23, FY24の特殊要因が剥落して安定回復の見通し。

親会社に帰属する 当期純利益

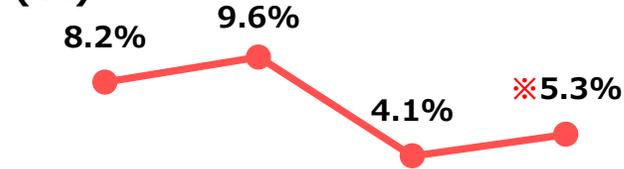
(百万円)



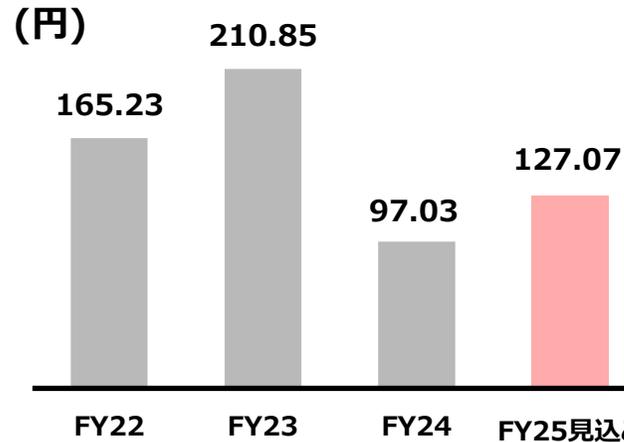
※1 固定資産売却による特別利益計上
 ※2 災害による特別損失計上

自己資本利益率(ROE) / 1株当たり純利益(EPS)

(%)



(円)



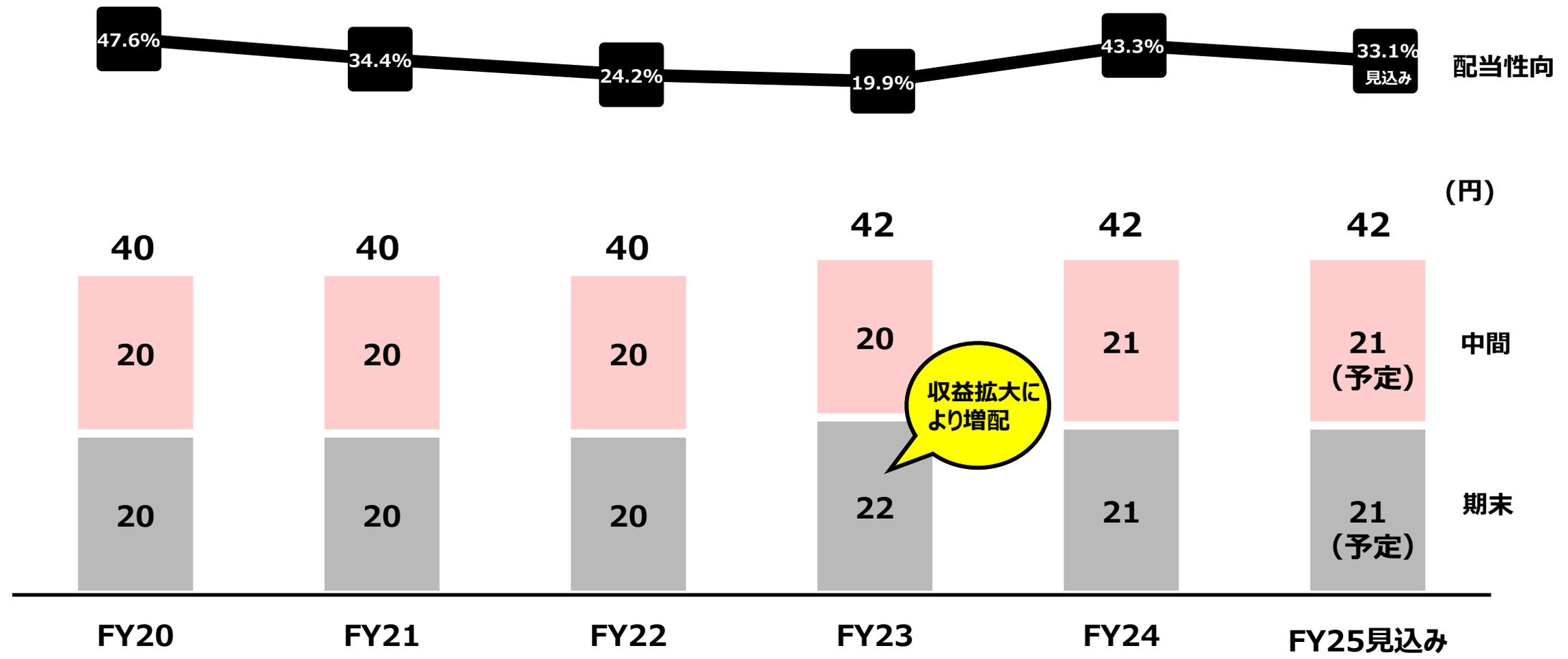
※FY24'4Q時点の自己資本額を元に試算しております。

財務体質

(百万円)

	FY23	FY24
自己資本比率	78.7%	81.4%
利益剰余金	10,343	10,725
純有利子負債	△3,303	△3,024

● 継続的・安定的な配当を維持



目次

1. 2024年5月期通期決算概要・2025年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

3. 質疑応答

経営理念

「光産業を通じ、社会に貢献します」

中期経営戦略の4つの柱

成長戦略

新市場開拓 & 既存事業深耕

01

ビジネスモデル変革

マーケットを絞った独自製品の展開

02

事業継承

次世代経営幹部・中核人材の育成

03

社会貢献

Light Solutions for Life®

04



長期視点からの企業価値最大化に向けた経営戦略を推進しております。

成長戦略

- ① 既存事業の継続成長
- ② 新市場・成長市場向け展開強化



半導体など



バイオ・メディカル



AI&ロボティクス



量子 など

ビジネスモデル変革

- ① 特定マーケット向けオリジナル製品の企画&開発&生産
- ② 専門企業とのコラボレーション企画&開発



微細マイクロボールレンズ搭載
超解像度顕微鏡



管理医療機器認証された
生体情報モニタ製品



ロボティクスとAI画像解析を統合した
光学素子の自動欠陥検査装置

事業継承・中核人材育成

- ① 次世代経営幹部の育成
- ② 当社オリジナル人材教育研修の拡充



社内オリジナル研修



生産、営業等、社内人材の
海外展示会参加



海外グループ会社及び
国内持分法適用会社役員登用

社会貢献

- ① 持続可能な企業活動に向けたサステナビリティ推進
- ② エネルギー & 教育分野 & 医療・介護・福祉関連



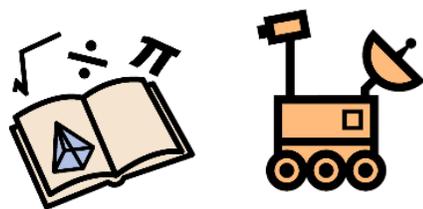
太陽光発電
(日高工場設置⇒能登工場8月稼働開始予定)



国内光学技術者
育成に向けた教育

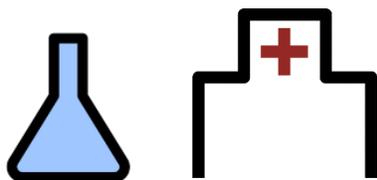
国家PJ&研究機関

- 量子関連
- ナノ精度位置決め技術
- ハイパワー・特殊使用環境



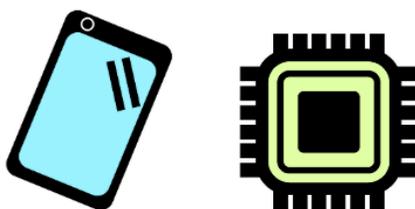
メディカルフォトンクス

- 低侵襲治療・美容用途
- ポータブル化・遠隔治療
- 再生医療・バイオ観察



FPD & 半導体

- 次世代装置(超微細加工等)
- AI & IoT
- OLED・次世代パネル



防衛・航空宇宙

- 宇宙探査
- 天文観察
- 海上・航空監視



通信・車・センシング

- 次世代通信モジュール組立装置
- 次世代通信関連
- 高分解能角度センサ



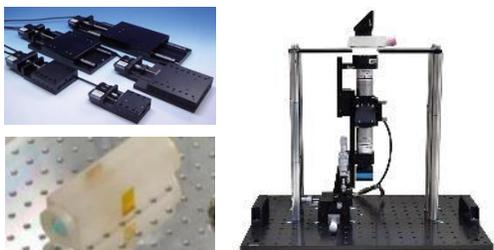
その他産業装置等

- 装置の多機能・高性能化
- 形状測定・微細加工・表面改質
- 省エネ・環境配慮
- AI & IoT



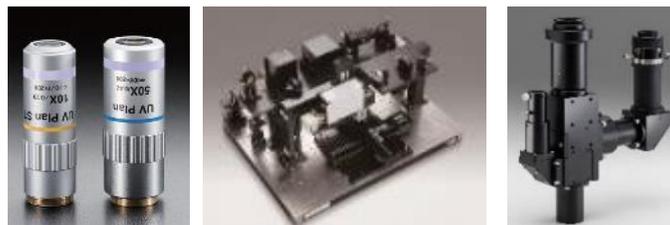
国家PJ&研究機関

- 大型国家PJ向け出荷完了
⇒次世代PJ対応中
- 高難易度光共振器対応中



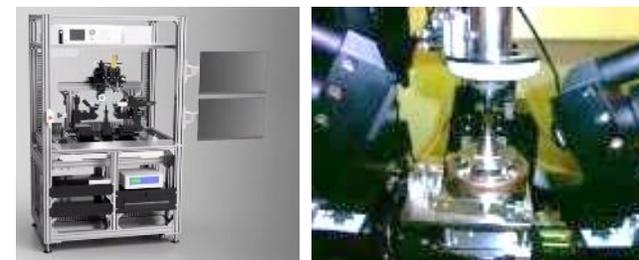
FPD & 半導体

- 半導体向け設備組込製品、
高精度光学ユニット需要継続
- FPD向け設備組み込み継続



通信・車・センシング

- 通信デバイス向けシステム、
ユニットの需要増加



メディカルフォトンクス

- 医療向けレーザシステム継続
- バイオ向けユニットの需要継続



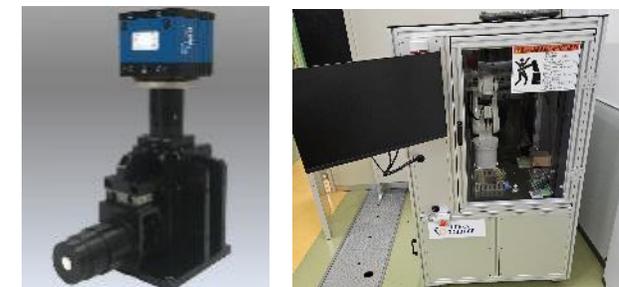
防衛・航空宇宙

- 防衛向光学ユニット継続
- 航空宇宙関連の需要増加



その他産業装置等

- 放射線分野向け測定装置



欧州

- 設備投資意欲は鈍化傾向も大口案件は堅調
- 研究機関向け大口/高難度チャレンジ案件の受注フォロー中
- バイオフォトニクス向け製品の受注フォロー中
- 計測分野向けOEM光学素子の受注継続、出荷対応中

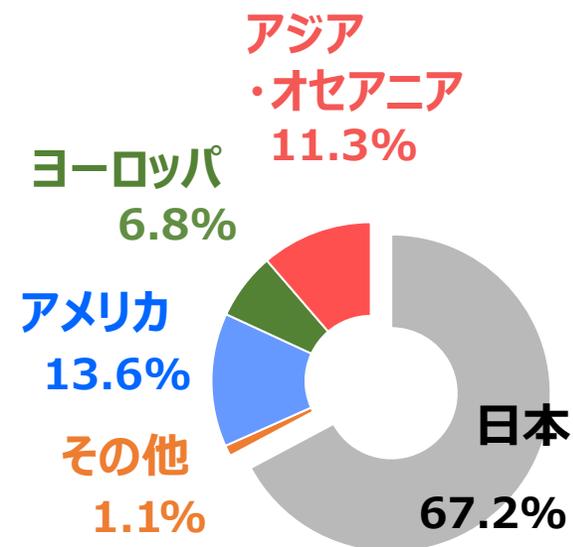
北米 ・南米

- 設備投資意欲に足踏みも下期から回復見込み
- 生産設備用OEM製品の受注に注力
- 国家PJ等、高難度チャレンジ案件獲得に注力
- バイオメディカル/バイオフォトニクス分野向けの光学ユニットの受注継続、出荷対応中

アジア ※日本除く

- 中国を中心とした生産設備組込用製品の需要は未だ不透明な状況続く
- 新規分野向けの案件獲得

(参考)2024年5月期
販売先別売上高構成比



<営業>

- ウェブ展開 & ブランディング & マーケティング
- 有力・成長分野の新市場/新顧客層開拓
- メーカー営業によるアプリケーション提案力強化
- 海外グループ会社の販売調達体制強化

<生産>

- 生産工場のリノベーション/拡充
- 生産技術の改革/伝承(人材育成)
- 生産性向上/体制強化(原価低減)
- 変種変量生産の体制構築/在庫適正化

<技術>

- 中核技術の総合力での製品開発
- 営業連携による売上寄与額の向上
- スキル/経験の可視化と組織対応
- 製品ポートフォリオ変革(新分野展開)

<コーポレート>

- 人的資本の取り組み強化
- 業績の定量分析の強化
- IT活用での業務変革(DX)
- ESGへの取り組み継続

光学素子・薄膜製品：非球面レンズ

非球面レンズ



特徴：

- 光学システムをコンパクト化できる
 - ・複数枚の組みレンズの性能を1枚で実現
 - ・集光する焦点距離を短くできる等
- 集光性能等の光学性能が高い

最新設備の導入 ⇒サンプル加工対応



非接触型
形状測定装置



磁性流体研磨機

期待される分野：

- エレクトロニクス
 - ・微細加工装置 & 精密検査装置
- 医療機器、バイオ顕微鏡
- その他研究用途等

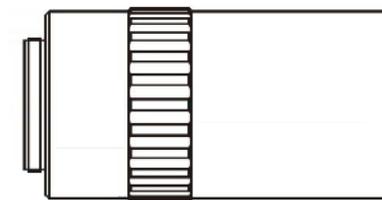
高難易度の生産技術の向上と
更なる高付加価値化に
継続して取り組んでいます。

光学システム製品：広視野高NA対物レンズ

対物レンズ



広視野高NA対物レンズ



特徴： 高NA(≒高分解能)のまま、
広い視野(≒広い観察範囲)を実現

期待される分野：

- 半導体関連装置への組み込み用途
- FPD関連検査装置
- バイオ観察顕微鏡等

光学設計・生産・組立などの中核技術で
高分解能、広い視野、多波長対応等、
高い設計 & 製造要求に対応しています。

目次

1. 2024年5月期通期決算概要・2025年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

2. 中期経営戦略・事業トピックス

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

3. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。

補足資料

四半期別セグメント別売上高・営業利益

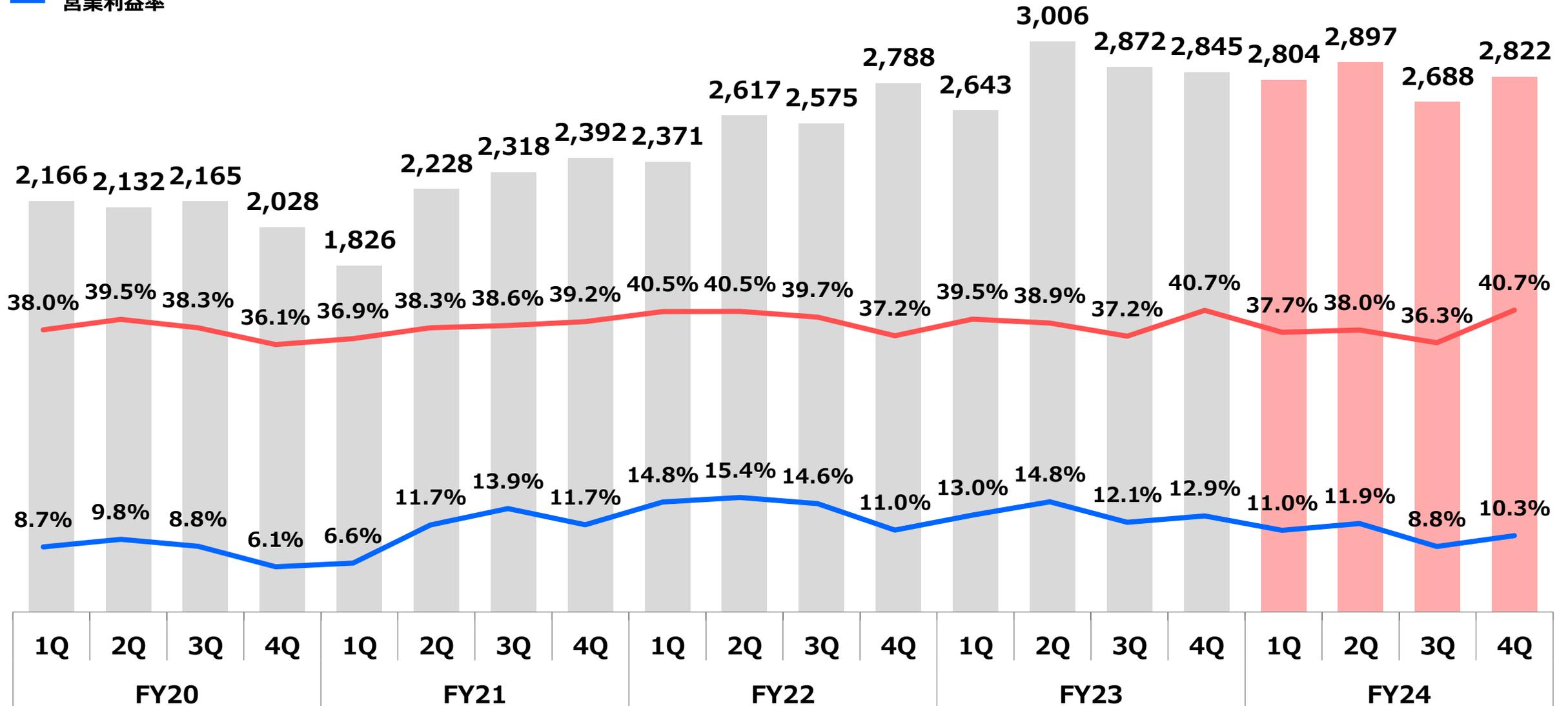
売上高	FY23'1Q	FY23'2Q	FY23'3Q	FY23'4Q	FY24'1Q	FY24'2Q	FY24'3Q	FY24'4Q
【百万円】	実績							
要素部品事業	2,276	2,542	2,396	2,504	2,333	2,354	2,186	2,340
光学基本機器製品(HW)	749	828	730	705	717	706	660	645
自動応用製品(MS)	390	364	423	513	461	514	426	468
光学素子・薄膜製品(OP)	1,136	1,349	1,241	1,286	1,155	1,133	1,100	1,226
システム製品事業	413	491	490	353	493	555	527	512
光学システム製品(SY)	413	491	490	353	493	555	527	512
消去	△46	△27	△14	△13	△21	△12	△25	△29
合計	2,643	3,006	2,872	2,845	2,804	2,897	2,688	2,822

営業損益	FY23'1Q	FY23'2Q	FY23'3Q	FY23'4Q	FY24'1Q	FY24'2Q	FY24'3Q	FY24'4Q
【百万円】	実績							
要素部品事業	482	568	448	525	407	398	307	402
システム製品事業	29	10	22	2	38	74	57	52
消去	△167	△132	△124	△160	△138	△128	△128	△165
合計	344	445	346	367	307	344	236	289

売上高・利益率推移

(百万円)

- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率



売上高

【百万円】

			FY22	FY23	FY24
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	8,829	9,454	9,287
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	1,606	2,059	1,807
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	553	689	784
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	800	874	612
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	147	146	222
消去又は全社			△1,583	△1,857	△1,501
連結			10,354	11,367	11,213

営業利益

【百万円】

			FY22	FY23	FY24
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	1,734	1,708	1,545
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	66	149	59
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	△2	△6	7
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	113	109	6
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	1	△2	△2
消去又は全社			△475	△454	△438
連結			1,437	1,504	1,178

売上原価の推移

【百万円】	FY22		FY23		FY24		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	YoY
売上高	10,354	100.0 %	11,367	100.0 %	11,213	100.0 %	△1.4 %
売上原価	6,269	60.6 %	6,926	60.9 %	6,928	61.8 %	+0.0 %
材料費等	3,763	36.4 %	4,386	38.6 %	4,614	41.2 %	+5.2 %
労務費	1,749	16.9 %	1,779	15.7 %	1,754	15.6 %	△1.4 %
減価償却費	242	2.3 %	247	2.2 %	248	2.2 %	+0.5 %
その他	514	5.0 %	513	4.5 %	310	2.8 %	△39.6 %
売上総利益	4,084	39.4 %	4,440	39.1 %	4,284	38.2 %	△3.5 %

販売管理費の推移

【百万円】	FY22		FY23		FY24		YoY
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	10,354	100.0 %	11,367	100.0 %	11,213	100.0 %	△1.4 %
販売管理費	2,646	25.6 %	2,936	25.8 %	3,106	27.7 %	+5.8 %
販売促進費	353	3.4 %	369	3.3 %	401	3.6 %	+8.6 %
広告宣伝費	83	0.8 %	114	1.0 %	100	0.9 %	△11.7 %
人件費	1,108	10.7 %	1,290	11.4 %	1,342	12.0 %	+4.0 %
減価償却費	90	0.9 %	90	0.8 %	81	0.7 %	△10.2 %
試験研究費	357	3.5 %	366	3.2 %	339	3.0 %	△7.4 %
その他	654	6.3 %	705	6.2 %	840	7.5 %	+19.2 %
営業利益	1,437	13.9 %	1,504	13.2 %	1,178	10.5 %	△21.7 %

主要設備投資

○FY22実績	
・上海シグマ光機設備投資	0.9 億円
・光学素子設備投資	0.5 億円
・基本機器設備投資	0.1 億円
○FY23実績	
・白山技術センター増築(当期支払分)	2.8 億円
・光学素子設備投資	2.1 億円
・能登工場増築(当期支払分)	1.5 億円
・オプトシグマ設備投資	0.6 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.5 億円
○FY24実績	
・オプトシグマ新社屋リノベーション・設備投資	4.8 億円
・能登工場増築(当期支払分)	3.1 億円
・白山技術センター増築(当期支払分)	1.5 億円
・情報システム投資	0.4 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.4 億円
○FY25見込み	
・能登工場（基本機器・光学素子）設備投資	5.0 億円
・測定機器投資	0.5 億円
・情報システム投資	0.4 億円
・光学素子・薄膜製品設備投資	0.3 億円
・自動応用製品設備投資	0.3 億円

研究開発費補足説明

【百万円】

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費込み) 売上高比率
FY22	310	3.5%
FY23	300	3.2%
FY24	265	3.0%
FY25見込	258	3.0%

○部材費

	自社	うち産学官連携
FY22	47	16
FY23	65	20
FY24	73	24
FY25見込	99	23